

平成21年12月22日

ベルニナ山岳会 研究会

参考資料 大嶋幸光

写真の写し方

写真を写す目的

1. 記念写真
2. 記録写真
3. 感動のこもった写真

記念写真 思い出として残すもの

記録写真 客観的な妥当性のある被写体として捉えたもの

感動のこもった写真 主観的に自己を反映させたもの

中途半端な気持ちでシャッターを切らない。目的をはっきりさせて写す事が重要

見る人に感動を与える写真を写す

出会いと発見 出会いは運、発見はその人の感性

光を捉える 立体感、画面の省略

写真は引き算 主題を強調し欲張らない

山での生活を写す

人物が主題、登場人物の豊かな表情、魅力ある動作の瞬間

確保技術
及び
11月8日確保トレ概要

2009年10月28日

ベルニナ山岳会

春木 俊秀

固定確保と制動確保

- ・ 固定確保
 - トップ(リード)・セカンド(フォロー)確保の時、加重がかかった時点でロープを固定
 - ロープの伸びを利用する
 - ・ 但し可塑性ではない(伸びっぱなし)
- ・ 制動確保
 - 何らかの理由で固定確保が使えない場合
 - ・ 支点が不安定または「ない」場合
 - 岩場
 - 雪上
 - 代表的なものは肩がらみ確保



簡単に言えば・・・

- ・ 固定確保

- フリークライミングの時
- セカンド(フォロー)の確保時
 - ・ マルチピッチの場合
 - ・ トップロープの場合

ロープ・ロックを防ぎ。制動能力の向上も求めた『バネ付きタイプ』は、利用者が多かった



- ・ 制動確保

- アルパインクライミングにおける選択肢の一つ
 - 特に雪上におけるビレイ時
- (余談)ハングでの落下時、「流せ」というが・・・



危 ハングでは流す？

- ・ ハング越えの最中にタイトなビレイをしていてフォール時にガチッと止めるとクライマーは壁に激突するケースがある。ロープを流す動作は慣れないと流しすぎる。
- ・ 危険があるので、最初の支点の真下においてフォールしたら自然に少し飛び上がるようにすると良い。

単純に『プレート・タイプ』からの、発展系で生まれた確保・器具ではなく。より優れた機能性を有していた俗に『バケツ・タイプ』と呼ばれる制動・確保器具は、現在のビレイ用具のスタンダードです。放熱性に優れた、丸型タイプから現在ではシンプルな角型・形状の物へと進化してきて。制動力を2段階に切り替える、事の出来るタイプが最も利用価値が高い。



次回確保トレにおけるポイント

- 岩場を想定した
 - 制動確保
 - 固定確保
- 雪上を想定した
 - 制動確保
 - なぜ制動確保のみか？
 - 支点が不安定、または取れない
 - 雪面を滑落する機会が多く垂直に落ちない→時間的余裕



制動確保のポイント

- 体勢が全て
 - 岩場
 - 雪上
- 繰り出し側の手を握らない
- 制動側の手で急速に制動をかけない
- 支点に加重をかけない

ビレイデバイス

ATC (BD)

確保と懸垂下降の両方に使用可

使用ロープ: 9~11mm

重量: 50g



ATCガイド (BD)

トップ/セカンドクライマーの確保と下降。
セカンドクライマー確保時のブロック機能。
カラビナホールにロッキングビナを掛け
ビレイポイントから直接ビレイ可。

使用ロープ: 7.7~11mm

重量: 103g



ATC-XP (BD)

V字型の刻みによりビレイやラペルの
時にロープの径に応じてフリクションを
選ぶ。真ん中の板(ウェブ)がATCより
長いため、ロープキックを防ぐ効果も。

使用ロープ: 8.1~11mm

重量: 89g



トゥーキャン (シモン)

トップのビレイやラペルに加え、フォロー
するクライマーの確保、ローダウン可。
ダウンさせる場合大きめのループにスリ
ングをかければテコの原理の応用でロー
プの滑り出しが可能。

使用ロープ: 7.5mm~11mm



ルベルソキューブ (ペツル)

トップのビレイ、セカンドビレイ、懸垂下降。
V字型のフリクションチャンネルに刻まれ
たグループがロープの径や状態、硬さ、
用途ににあわせ、フリクションを調節。

使用ロープ: シングルロープ \geq 8.9mm

ダブル・ツインロープ \geq 7.5mm

重量: 72g



グリーン

ベルソ (ペツル)

ルベルソキューブをシンプルにした。トッ
プ、セカンドのビレイデバイス、下降器と
して使用

使用ロープ: シングルロープ \geq 8.9mm

ダブル \geq 8.0mm

重量: 57g



固定確保のポイント(トップのビレイ)

- ビレイ位置の基本は最初の支点の真下。フォールした場合に最も安定する場所であり、ロングフォールでビレイヤーが飛ばされても、真上に引き上げられる。
- 最初の支点の真下から離れているとフォール時に横方向に引かれる事になり、余分にロープが流れる可能性あり。
- 但し、クライマーの真下は危険なので避ける。
- 登り始めはロープの余りを少なめにしてタイトなビレイを。グランドフォールの可能性は登り始めの低い位置の時が一番高い。
- 真下に引いて止める。ATCなどのバケツ型ビレイデバイスはクライマー側ロープと引き手側ロープが 180° の位置関係になるとき止める力が最大になる。引き手を腰に持っていったり後ろに回したりするのは危険。

次回確保トレにおける トレーニング計画

- ・ 緑・横須賀参加、8:30集合9:00開始14:00終了目標
- 尾山主任及び各担当(下記)
 - ・ 制動確保(右壁・尾山/春木):止め/固定/脱出/引下ろし
 - ・ 器具確保(右壁・尾山/春木):止め/固定/脱出/引下ろし
 - ・ 懸垂下降(左壁・鎌田):手順、点検、空中停止
 - ・ 自己脱出(左壁・松本):セット、実地
 - ・ 引き上げ・引き下ろし(右壁・時間次第):セット、実地
- 持ち物:ヘルメット、ハーネス、セルフビレイ、軍手、上着、カラビナ、スリング類

(付録)
遭難救助講習会報告

2007年11月18日開催

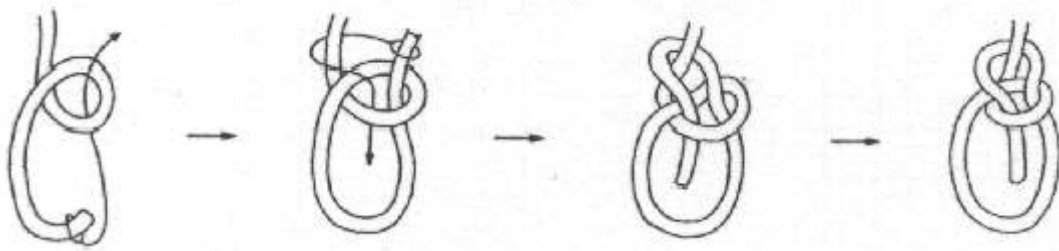
春木俊秀

注意点

- ・ 搬出に特有の器具
 - エイト環:ATCはロープの折り曲げ角度が深く、向かない
 - タイブロック×2
 - プーリー×2 以上は1/3システムのために必須
 - 4～5mm径×100cm ロープ状スリング×1: ムンターヒッチによる事故者下降時結び目通過に必須
 - 安全環付カラビナ×3: 上記とともに懸垂による結び目通過に必須
 - 120cmテープスリング×1: チェスト用
 - 5～6mm径×100cm ロープ状スリング×1: 完全固定によるフリクションヒッチ使用時に必須
- ・ ダイニーマは滑るため搬出作業に向かない。従来のロープタイプ、テープタイプのスリングが有効

注意点

- ・ 搬出に特有の結び方
 - ムンターヒッチ = 半マスト結び
 - ミュールヒッチ = エイト環、ATC用固定結び
 - シートベント = ブーリンの変形



壁途中からの搬出

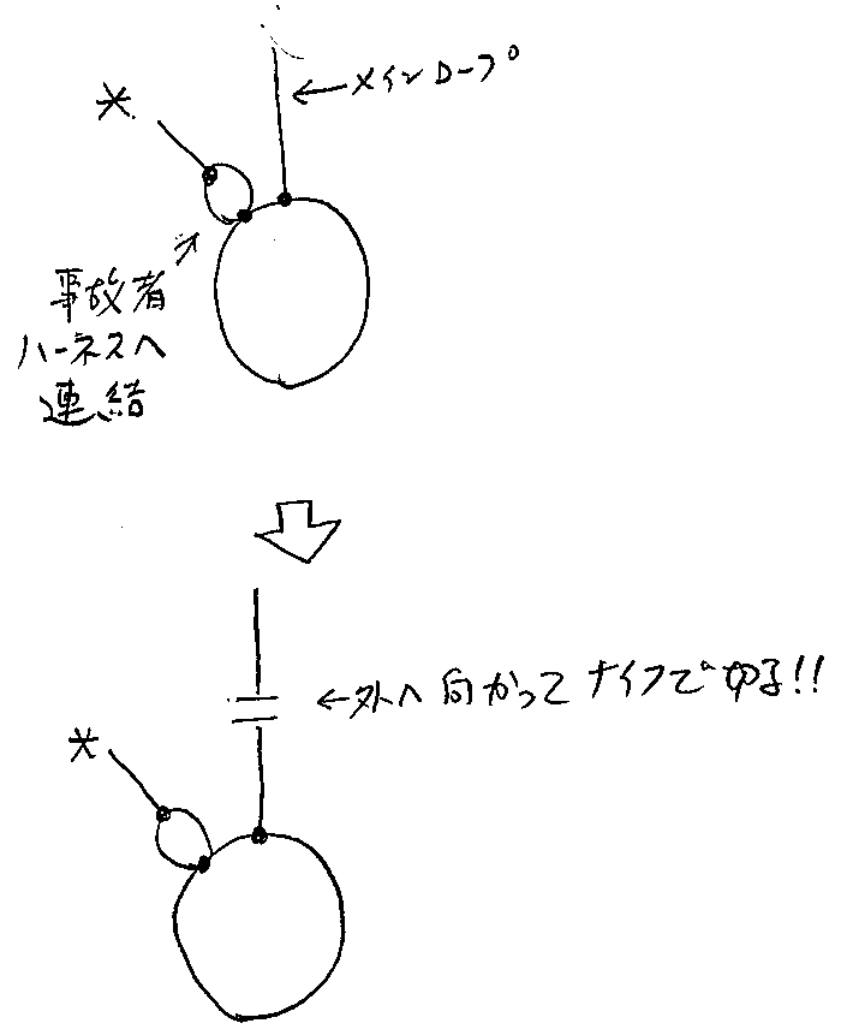
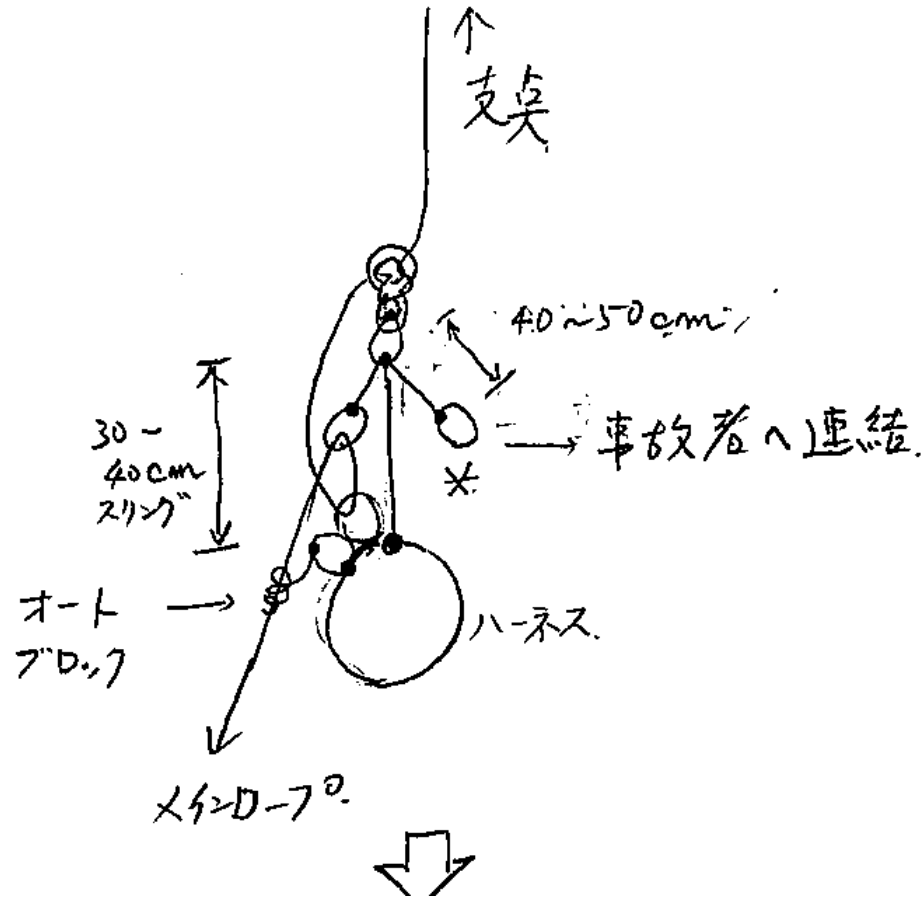
手順

- ・ 図のようにセットし事故者まで下降
- ・ 事故者の脚の位置が自分の太もも下辺りまで来たら停止、エイト環仮固定
- ・ 事故者ハーネスに40~50cm出したヒゲを連結
- ・ 事故者メインロープ切断。外側へ向けてナイフで切ること
- ・ 仮固定解除、下降
- ・ 下降完了直前に事故者荷重かかった状態で移動、最適な位置を探す
- ・ 事故者頭部を保護しつつ荷重を抜く
- ・ 完了

注意点

- ・ 事故者用チェストをつけると楽

壁途中からの搬出



単独による搬出・結び目付

手順

- ・ メインロープをムンターで下ろす
- ・ 結び目が来たらメインをミュールで仮固定、念のためビナ付ける
- ・ オートブロックへ荷重を移す
- ・ メインのミュールを解除し結び目を通過させ再びムンター
- ・ a)を解除し徐々に荷重をメインに移す
- ・ オートブロック開放、メインのムンターで下ろす

注意点

- ・ オートブロックは事故者側

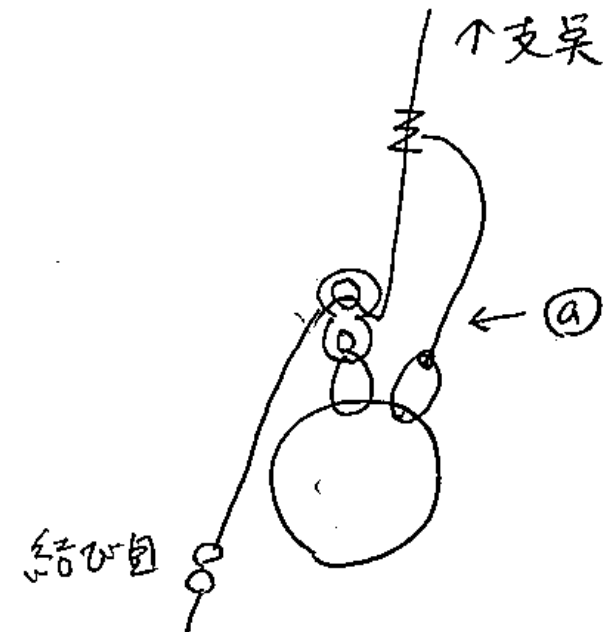
懸垂による結び目通過

手順

- ・ a)は前ページ同様にセットムンター+ミュールは自分のハーネスに連結
- ・ オートブロックをずらしつつ下降
- ・ 結び目が脚の少し下へ来たらエイト環仮固定、ミュール+ビナ使用
- ・ 一旦オートブロックへ荷重を移す
- ・ エイト環仮固定を解除し結び目通過、再度仮固定
- ・ a)解除、エイト環仮固定解除
- ・ 下降再開

注意点

- ・ エイト環仮固定にはロープが最低2mは必要



単独救助システム

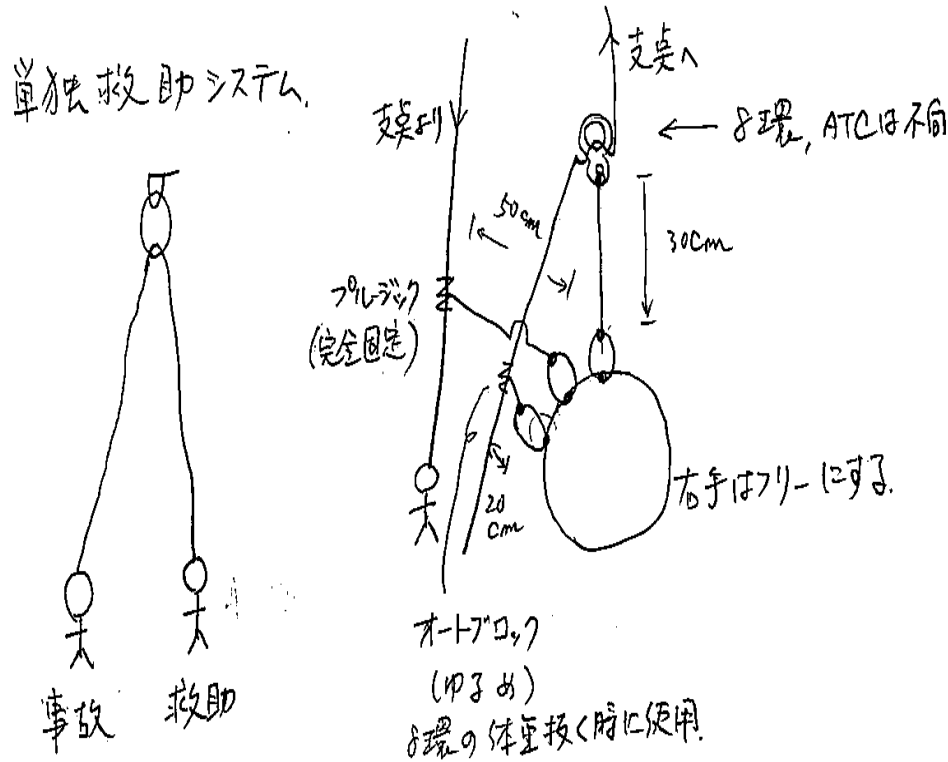
手順

- ・ 図のようにセット、事故者には八の字結びで折り返しロープを連結
- ・ プルージック固定により事故者を近くに寄せることがポイント
- ・ エイト環によるロープ繰り出しに合わせて事故者と同時に下降
- ・ 手元のオートブロックはゆるゆるにしておいて小指でずらしながら下降
- ・ 斜面の状態に応じて事故者を前後に移動する
- ・ 下降完了直前に事故者荷重かかった状態で移動、最適な位置を探す
- ・ 事故者頭部を保護しつつ荷重を抜く
- ・ 完了

注意点

- ・ 事故者用チェストは必須、120cmスリング+シートベント

単独救助システム



- ① フルロック固定により、常に事故者が近くにいます。(動かさない)
- ② 8環によるロープの抜き出しに合わせて事故者と同時に下降する。手元のオートブロックをずらしつつ下降。
- ③ 事故者にはスリング+シートベルト+チェストを付けます。
- ④ 斜面の状態において事故者より前、又は後ろに背負うことができません。

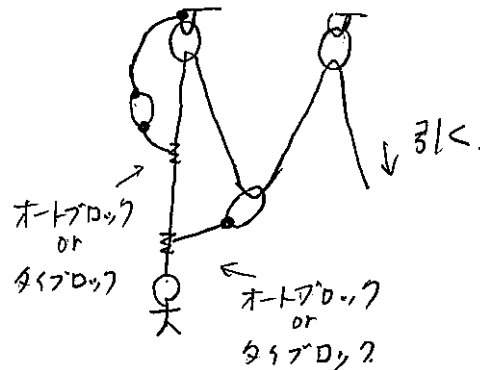
1/3引き上げシステム

手順

- ・ 図のようにセット
- ・ 引く

注意点

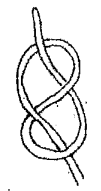
- ・ 各支点はプーリー使用が必須
- ・ 各オートブロックは下方向へのストッパーの役目を果たす
- ・ 引く時にはオートブロックセットで足踏みが良好





①

ひとえ結び



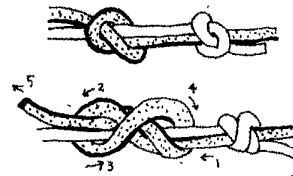
②

8の字結び

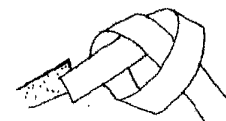


③

二重8の字結び

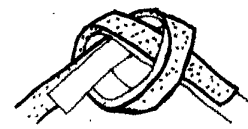


④ フィッシャーマン



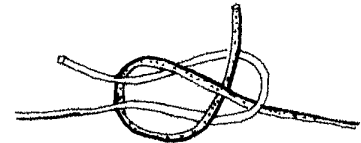
⑤

ダブルフィッシャーマジ



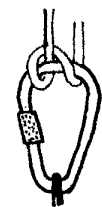
⑥

テープ結び



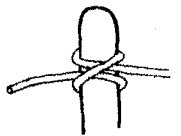
⑦

シートバンド



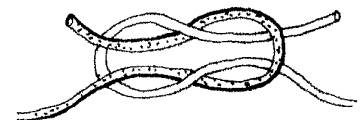
⑧

ムンターヒッチ



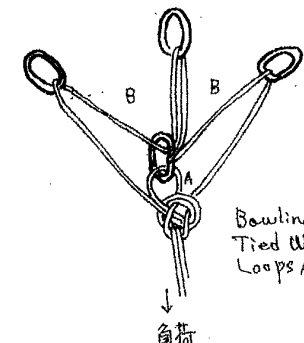
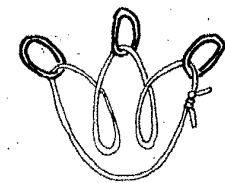
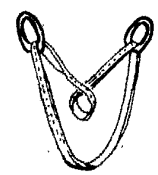
⑨

クローブヒッチ



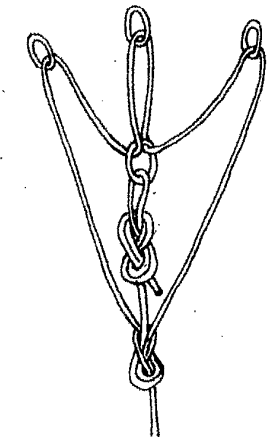
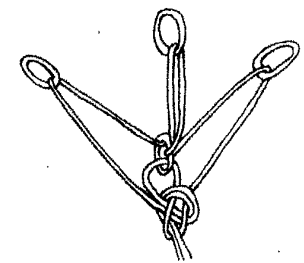
⑩

本結び?

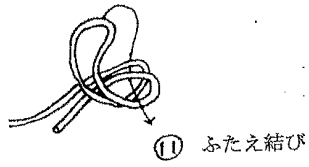


Bowline On The Bight
Tied With Two Unequal
Loops A & B

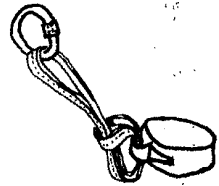
↓
負荷



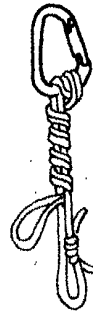
8の字結びからの変形



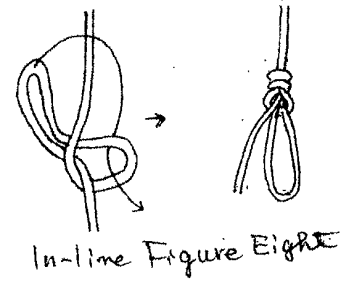
⑪ ふたえ結び



⑫ カウヒッチ



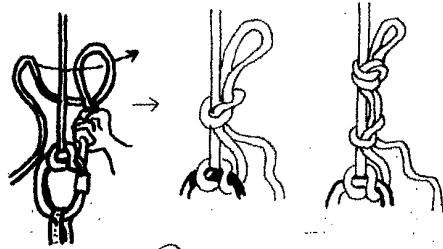
⑳ マリナーノット



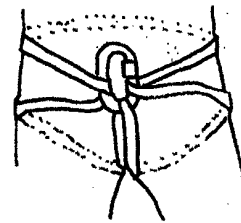
In-line Figure Eight



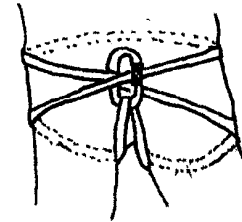
⑬ わな結び



⑭ ミュールノット



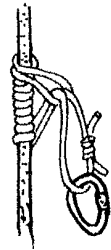
Dulfer seat



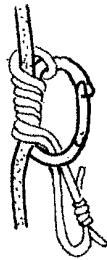
B
Doubled Sit Sling Seat



⑮ ブルージック



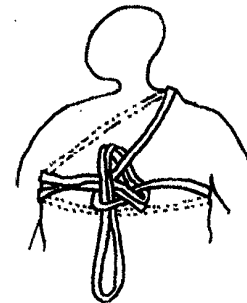
⑯ クレムハイスト



⑰ バックマン

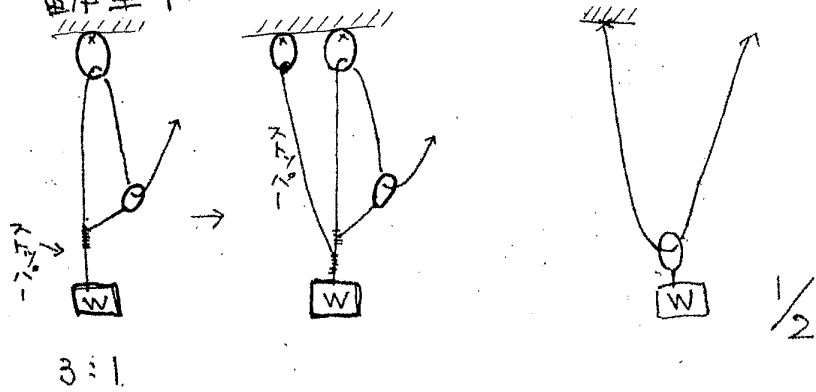


⑱ オートブロック

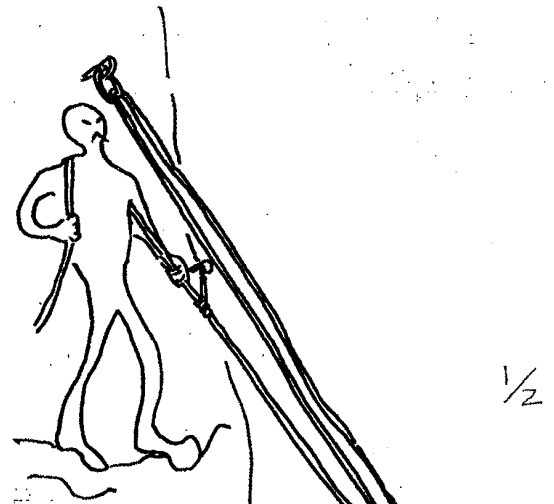
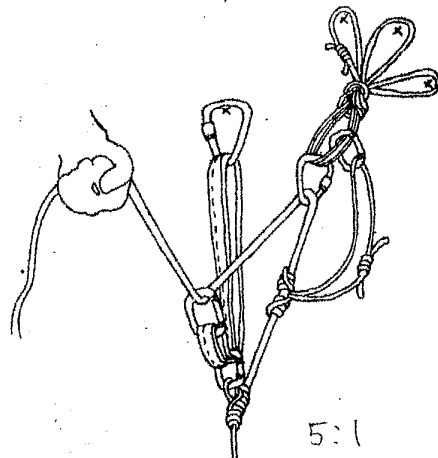
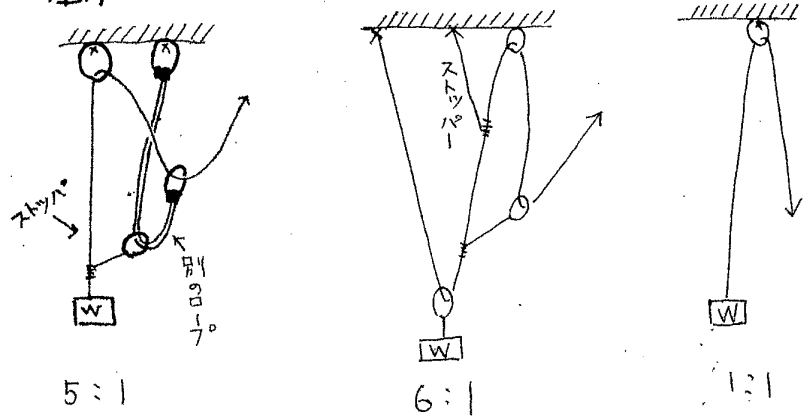


Parisian
Baudrier

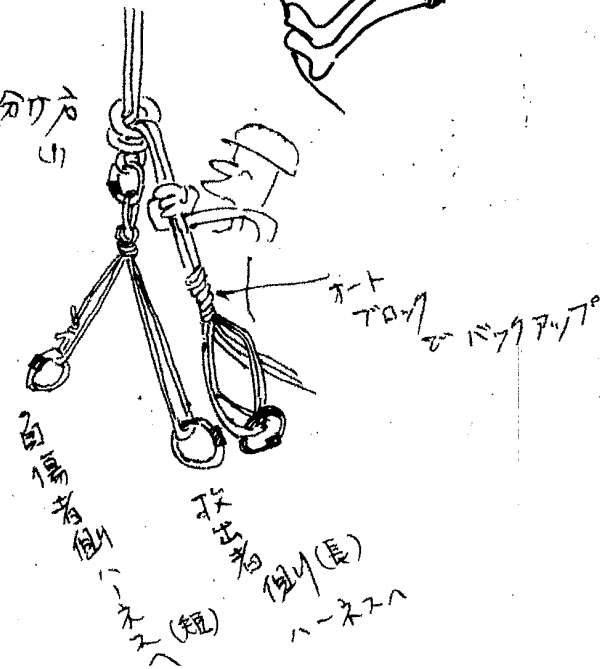
基本型 1



基本型 2



振り分け方



1. 劔岳の範囲は、どこからどこまでか？

2. 劔岳の主な岩場とベース

チンネ /ジャンダルム /小窓王 /ハツ峰 VI 峰フェース群 Aフェース Bフェース Cフェース Dフェース /ハツ峰三ノ窓側 函ノ谷 菱ノ谷 /源次郎尾根Ⅰ峰平蔵谷側側壁 /源次郎尾根Ⅱ峰平蔵谷側側壁 /本峰南壁 /本峰北壁 /クレオパトラ・ニードル /東大谷 中尾根 駒草ルンゼ 富高ルンゼ /池ノ谷 右俣 中央ルンゼ 右俣奥壁 劔尾根 ドーム(北壁、南壁) デルタフェース /小窓尾根白萩川側フェース

ベース：幕営指定地 真砂沢、劔沢
指定地以外 三ノ窓、熊ノ岩

3. 主なアプローチ

室堂－雷鳥沢－別山乗越－劔沢－真砂沢

黒四ダム－内蔵助谷－ハシゴ谷乗越－真砂沢－長次郎谷－熊ノ岩

馬場島－池ノ谷－三ノ窓

本峰－北方稜線－池ノ谷乗越－三ノ窓 長次郎谷－池ノ谷乗越－三ノ窓

4. 登山季節と天候

5. 登山条例

特別危険地域への立入禁止勧告

単独登山の禁止勧告

パーティーの 1/2 以上は積雪期登山経験者でリーダーは危険地区の積雪期経験者
予備日 12/1-2/末は 7 日以上、3/1-4/15 は 5 日以上、4/16-5/15 は 3 日以上

山岳保険加入

山岳団体加入

6. 会員の登山史



文字を大きくするには？
[富山県ホームページへ](#)

県警トップ

[富山県警察ホーム](#) > [登山](#) > [富山県警察山岳情報【冬】2008第2号](#) > [冬山情報第2号\(2008年12月19日\)※5ページ目](#)に登山届出状況(入山予定パーティー数)を追加しました。

冬山情報第2号(2008年12月19日)※5ページ目に登山届出状況(入山予定パーティー数)を追加しました。

最終更新日:平成21年9月12日

- 1・・・冬山期間中の問合せ先
- 2・・・積雪状況
- 3・・・登山上の注意事項
- 4・・・山岳状況の空撮画像
- 5・・・登山届出状況(入山予定パーティー数)

情報発信元
警察本部 生活安全部 地域室

電話:076-441-2211
 メールアドレス:
 kenkei01@tpp.pref.toyama.lg.jp
 [[お問合せフォーム](#)]

[警察のページへ](#)

12月16日 赤谷尾根上部



12月16日 赤谷尾根頂上直下



12月16日 劔岳東面



12月16日 早月小屋(2200m)



12月16日 早月尾根2600m付近



12月16日 シシ頭からカニのはさみ付近



12月16日 小窓尾根ニードルとドーム



12月16日 小窓尾根マッチ箱ピーク(奥は劔岳頂上と早月尾根)



[前のページ](#) | [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) | [次のページ](#)

[ページの先頭に戻る](#)

[富山県警察ホーム](#) > [登山](#) > [富山県警察山岳情報【冬】2008第2号](#) > [冬山情報第2号\(2008年12月19日\)](#) ※5ページ目に登山届出状況(入山予定パーティー数)を追加しました。

[ホームページの考え方](#) | [リンク・著作権・免責事項について](#)

富山県警察本部 〒930-8570 富山市新総曲輪1番7号電話:(代表)076-441-2211

Copyright (c) Toyama Prefectural Police All rights reserved.



文字を大きくするには？

富山県ホームページへ

県警トップ

キーワードで情報を検索

検索

富山県警察ホーム > 登山 > 富山県警察山岳情報【冬】2008第2号 > 冬山情報第2号(2008年12月19日)※5ページ目に登山届出状況(入山予定パーティー数)を追加しました。

冬山情報第2号(2008年12月19日)※5ページ目に登山届出状況(入山予定パーティー数)を追加しました。

最終更新日:平成21年9月12日

- 1・・・冬山期間中の問合せ先
- 2・・・積雪状況
- 3・・・登山上の注意事項
- 4・・・山岳状況の空撮画像
- 5・・・登山届出状況(入山予定パーティー数)

登山届出状況

区分	入山予定パーティー数(劔岳周辺 条例区域内)												計
	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水	
早月尾根	1						2	6	10	1	3	3	26
小窓尾根									1				1
クズバ山～奥大日岳方面	1							1	1				3
後立～赤沢岳～黒部川～内蔵助谷～源次郎～早月							1						1
後立～岩小屋沢岳～十字峡～仙人池～八ツ峰～早月				1									1
後立～白馬鑓ヶ岳～樺平～池ノ平山～劔岳～早月				1									1
計	2	0	0	2	0	0	3	7	12	1	3	3	33

前のページ | 1 2 3 4 5 |

情報発信元

警察本部 生活安全部 地域室

電話:076-441-2211

メールアドレス:

kenkei01@tpp.pref.toyama.lg.jp

[お問合せフォーム]

警察のページへ

ページの先頭に戻る

富山県警察ホーム > 登山 > 富山県警察山岳情報【冬】2008第2号 > 冬山情報第2号(2008年12月19日)※5ページ目に登山届出状況(入山予定パーティー数)を追加しました。

ホームページの考え方 | リンク・著作権・免責事項について

富山県警察本部 〒930-8570 富山市新総曲輪1番7号電話:(代表)076-441-2211

Copyright (c) Toyama Prefectural Police All rights reserved.

早月小屋へ



1日目

上市から伊折まで車です。伊折から半日歩くと馬場島に到着します。

2日目

早月尾根に取り付きます。展望のきかない急坂を半日登ると1700mに達します。そこからは北方稜線の赤谷山が望めます。



夕方には、幕営地の2200mに着きます。そこには早月小屋があります。
夕照の剣岳が美しい。

[NEXT](#)[INDEX](#)

雪稜>



3日目

頂上アタックです。

雪稜を登ります。2400mで樹林限界を越えます。後ろに毛勝岳がそびえます。



2600mからは雪稜が細くなります。風が強く通り抜ける所もあります。

NEXT

INDEX

獅子頭



獅子頭, 2900mの岩峰です。通常は北面を巻きます。雪の不安定な場合は稜線沿いに登ります。



獅子頭より頂上を望む。



獅子頭より、登ってきた早月尾根を振り返る。雪稜が美しい。

NEXT

INDEX

展望



南側には奥大日岳が望めます。



南東には立山が雲上に。



北側には, 剣尾根, 小窓尾根。

NEXT

INDEX

頂上へ



別山尾根との合流地点。バックは獅子頭



頂上まであと20m。バックは奥大日岳。



頂上からは、八峰ごしに鹿島槍が望めます。

NEXT

INDEX

下山



獅子頭からは雪稜を慎重に下る。



2600mの登り返し。美しい雪稜です。



2600m峰を越えて、剣岳を望む。ここまで、降りるとホットします。午後遅くにテントに帰着です。

4日目

2200mから伊折まで一気に下山。

INDEX